

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 新見市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 718-8501 岡山県新見市新見 3 1 0 番地 3	
本票作成	部署名：新見市 総務部 総務課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方行政 職員数：5 3 5 人（令和 6 年度）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	新見市クリーンセンター		新見市金谷 2 5 3	
	②	千屋温泉いぶきの里		新見市千屋花見 1 3 3 6 - 5	
	③	げんき広場にいみ		新見市上市 1 5 - 1	
	④	馬塚浄水場		新見市馬塚 3 - 2	
	⑤	新見浄化センター		新見市正田 3 3 0 - 6 2	
	⑥	し尿処理施設		新見市金谷 2 5 2	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 307 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
排出量	14,274 t CO ₂	14,467 t CO ₂	13,560 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量
	①	新見市クリーンセンター	5,954 t CO ₂
	②	千屋温泉いぶきの里	953 t CO ₂
	③	げんき広場にいみ	608 t CO ₂
	④	馬塚浄水場	379 t CO ₂
	⑤	新見浄化センター	394 t CO ₂
	⑥	し尿処理施設	312 t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.4 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

温室効果ガス排出量については、総排出量で前年度比約 1 %増加している。主な原因として廃プラスチックの焼却量が前年度より増加したことであると考えます。

その他の施設については、軽微な増減が確認できた。

令和 7 年度よりプラスチックの分別も開始され、引き続き、温室効果ガス排出量削減に向けた取組の推進が必要と思われる。

【推進体制】

総務部長（エネルギー管理統括者）を委員長とし、関係各課１０名の委員で組織する「新見市エネルギー管理委員会」を組織している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全庁舎	(令和６年度実施分) ・ＯＡ機器の節電とこまめな消灯を徹底。 ・空調機器の温度管理を徹底。
本庁舎	・古い箇所を中心に、照明をＦＬ・ＨＦ管からＬＥＤに更新し、エネルギー効率の向上及び省エネルギー化を図った。（１箇所） ・ＰＰＡ事業として、神郷支局、哲西支局に太陽光パネルを設置。 ・電気自動車３台を配備。
全庁舎	(今後実施予定分) ・職員の省エネに対する意識づけを行い、節電を徹底することにより省エネルギー化を図る。 ・電気自動車の配備を行う。 ・本庁舎全館の照明をＬＥＤ照明へ更新する。（令和７年度実施予定）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	間伐 １３．９５ha
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・冷暖房設備の使用電力軽減のため、クールビズ。ウォームビズを実施。
・庁内の見回りにより、照明設備の点灯箇所及び冷暖房の温度管理を行っている。
・市職員の省エネ意識を高めるべく、冷暖房使用開始時に庁内システムで節電の呼びかけをし、削減を図っている。
・電力デマンドの管理により、電力使用量の目標値を明確にし、積極的に節電を行う。